

会議の概要

令和元年度 第5回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 兼
- 大山幼稚園学校運営協議会
 - 玉井幼稚園学校運営協議会
 - 大山小学校学校運営協議会
 - 玉井小学校学校運営協議会
 - 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和元年10月8日（火）18:30～20:30

場 所：改善センター 農事研修室・相談室

（進行 指導主事 斎藤一範）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 大山 明美）

みなさん、こんばんは。これから第5回コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いします。

2 教育長あいさつ

（大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎）

- 大変お疲れのところお集まりいただき、ありがとうございます。9月28日（土）のおおたま・オータム・フェスタの折は、CS委員会の皆様には大変お世話になりました。いろんな活動を回らせていただいたが、子どもたちは、生き生きと活動を楽しみ、地域の方々とふれ合っていました。10月11日（金）には、幼稚園のオータム・フェスタも実施されるのでよろしくお願いします。
- 先週末（10月5日〈土〉）には大山・玉井両幼稚園の運動会が行われた。雨上がりで風が心配であったが、子どもたちが伸び伸びと運動する姿がとても印象に残っている。
- 去る8月1日から2日まで開催された広島県府中市の“全国CS研究大会 in びんご”に参加し、たくさんのことを学ばせていただいた。特徴的な取組として、町内会と結びついた活動、地域の企業と一体となった活動等が挙げられる。大玉村の地域学校協働活動事業も3年目を迎え、県のモデル地区指定も終了するので、今後どのように進めていったらよいかについていろいろと知恵を出し合っていかなければならない。これからの教育活動は、地域と連携・協働した活動が大切である。CSを推進するに当たっては、地域学校協働活動は欠かすことのできないものである。現在、次年度以降の推進計画をプロジェクトチームを編制して検討しているところである。
- 全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査について
 - ・ 現在、結果を分析し対応策を考えてもらっている。〈後ほど説明あり〉
- 教職員多忙化解消アクションプランについて

9月21日付の新聞記事によると、全国的に見て、教員の勤務時間は過労死ラインをオーバーしているという実態であるが、これについてどういう対応策があるか検討している。私も県の多忙化解消検討委員の一人であるが、資料「教職員多忙化解消アクションプラン」をご覧いただきたい。これを見ると、国や県がこの状況を捉え、改善していくという方向性が見える。勤務時間がオーバーした分をどうやって減らしていくかということである。この取組が始まったのは2018年度で、2017年度実績比30%減が目標だが、この数値は大変難しいものである。各校で様々な工夫をしておられ現在も継続中である。

また、平成21年度から取組んできた学校支援地域本部事業（現地域学校協働本部事業）における学校支援ボランティアは、「学びの還元と循環」を目的として行っているが、地域ボランティアや学生ボランティアが授業や行事等に入ることによって授業が充実し、結果として教職員の多忙化解消につながっているものとする。

3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ (おおたま学園CS委員会会長 伊藤 和弥)

- 本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。また、9月28日(土)のオータム・フェスタにおいては、先生方、CS委員の皆さん、各種団体の皆様等が一生懸命に頑張ってくださいている姿を見せていただいた。天候にも恵まれ、一人のけが人もなく終えることができた。10月11日(金)の幼稚園のフェスタは、台風は近づいてはいるが屋内なので実施できると思うが、安全には十分に留意して実施していただきたい。
- 9月6日(金)のオープンスクール、CS委員会でもお話ししたが、本宮市CSフォーラムに参加してきた。おおたま学園CSのいい所を中心に話してきたが、その中で課題も見えてきた。本宮市は、各学校にそれぞれCS委員会が設けるわけだが、大玉村は5校園がまとまって問題点を解決していく。その点は素晴らしいと思うが、CS委員会と各校のPTAとの繋がりをさらに深めることが課題であると思う。今後のCS委員会の活動の中で改善していくとともに、さらに盛り上げていきたいと考える。

教育長退室

4 諸連絡 本日の日程・内容について (指導主事 斎藤 一範)

本日は大きく分けて以下の3点について協議を進める。

- ふくしま学力調査結果、全国学力・学習状況調査結果について
- 第11回教育フォーラムについて
- 各園・各校ごとの意見交流(各校の現状等)

5 協議 (座長 おおたま学園CS委員会副会長 矢吹吉信)

- (1) 平成31年度(令和元年度)ふくしま学力調査結果、全国学力・学習状況調査結果について
 - 事務局より説明(斎藤指導主事、佐久間指導主事)…詳しくは「2019広報おおたま10月号」参照 https://www.vill.otama.fukushima.jp/gyousei_jouhou/kouhou/

- (2) 第11回教育フォーラムについて

① 事務局より説明(斎藤指導主事)

- 過去の教育フォーラムの形態は、
 - ・ 講演とグループ協議
 - ・ パネルディスカッションとグループ協議
 - ・ アトラクション(子どもたち)であった。
- 第3回CS委員会(7/9)において、CS会長より問題提起及び提言がなされた。



- ・ 保護者の参加が少ない → 各校園で出張フォーラムを実施してみてもどうか。
- ・ 教育フォーラムという名称が難しいイメージ → 親しみやすい名称に変更してはどうか。
(ex. コミスク広場 等)

※ 各校園の教育課程、行事等が決まっており、今年度中に出張フォーラムは困難なので、次年以降の検討課題とする。

- 第2回役員会(9/24)での検討を経て、今回の案を作成した。

【熟議していただきたいこと】

- ・ 家庭、学校、地域が一つのテーマに基づき学び合う場にしたい → 名称変更について
- ・ 期日は令和2年2月頃 休日の午前中
- ・ 内容(2部構成)

＜第1部＞パネルディスカッション … テーマ「大玉村の未来について語り合おう～大玉村の魅力の再発見と今後の展望について～」

- ・パネリスト数名によるパネルディスカッション
- ・パネラー、コーディネーターの人选

＜第2部＞フリートーク … テーマ「子どもたちが考える大玉村の未来について、地域・学校（保護者）ができること・やってみたいこと、学校（子どもを含む）ができること・やってみたいこと等について語り合おう」

- ・子どもが学習したことの発表（提案）…具体的な内容・方法
- ・発表（提案）内容について感想交流
- ・意見交流

- ・ 時間配分（目安） 8：30～ 8：55 打合せ
9：00～ 9：05 開会行事
9：05～ 9：50 第1部（45分間）
9：50～10：05 休憩
10：05～11：15 第2部（70分間）
11：15～11：20 閉会行事

＊ 本日出された意見を生かしながら、今後内容を決めていくようにする。

② 小グループによる熟議（各園・各校ごと）（35分）

③ 全体での共有（15分）

＜大玉中班＞

ア 名称について

「コミュニティ広場」

イ 1部（パネルディスカッション）について

- ・本宮青年会議所
- ・中学生がパネリストになるのも可能（生徒会長などを活用）
- ・大玉村をよく知っている人 ・保護者代表 ・商工会 ・学生（現在地元にいる人、他地域に出て行っている人、戻ってきた人）

ウ 2部の内容について

- ・大玉中は総合学習で地域を学ぶいろいろな学習をしている。地域貢献、地域を知る活動をしていて、3年生は文化祭でSDGsで学んだことを生かした寸劇を行う。そういうものを生かすことも可能ではないか。



＜幼稚園班＞

ア 名称について 「あだたら〇〇」「〇〇広場」

イ 1部（パネルディスカッション）について

- ・1部を子どもたちの発表の場とする。
- ・各小中学校で6班ぐらい発表をしてもらおうと、40～45分ぐらいになる。

ウ 2部の内容について

- ・1部の内容を受けてのフリートーク
- ・12班ぐらい編制する（CS委員、高校生、小・中学生等も入り、均等に振り分ける）

<大山小班>

ア 名称については決まらなかった。

イ 1部（パネルディスカッション）について

- ・ 各パネリストの発表の後、コーディネーターが子どもたちや会場の参加者に問いかけたり、意図的に指名したりして、楽しい雰囲気の中でざっくばらんにできると良い。会場全体を巻き込んだトーク大会にする。

ウ 内容について

- ・ 村長、議長にも参加してもらう。ディスカッションを通して、村として必要なこと、こうありたいこと、したいこと等をまとめるようにし、最後に村長、議長にコメントをもらうようにする。子どもたちの思いが届くような会になると良い。



<玉井小班>

ア 名称については決まらなかった。

イ 1部（パネルディスカッション）について

- ・ 大玉の魅力について話してもらう。
- ・ コーディネーターには大玉村に熱い思いを持った人を！

ウ 内容について

- ・ 子どもたちの発表に言葉を返してもらうような機会をつくるのが大切。村長、議長の参加は良いと思う。

（斎藤指導主事より）

- パネリストとして話してもらいたい人が見つかった（思いついた）場合には、お知らせいただきたい。

（3）各園・各校ごとの意見交流

（20分）

～ 内容は略 ～



6 その他（指導主事 斎藤 一範）

- 次回の予定

11月26日（火）16:30～
大山小オープンスクールについても案内を配付したので、確認と報告をお願いしたい。

- 12月に第7回CS委員会を開催する予定。これから学校評価があるので、この内容について研修等を行いたいと考えているが、まだ十分に定まっていないので後日連絡する。
- 第2回～第4回の会議録を本日配付したのでご覧いただきたい。

7 閉会のことば

（おおたま学園CS委員会副会長 吉田 都）

本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。以上をもって第5回CS委員会を終わらせていただきます。どうもお疲れ様でした。お気を付けてお帰りください。